

KQ-P68C

保証書付

キャスター レントシリーズ専用

まえがき

このたびは、キャスターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、キャスターを安全にお使いいただくための注意事項や使用方法などを記載しています。

- キャスターをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」およびレントシリーズ (KQ-68***:別売以下、ベッド) の「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- キャスターを取付けたベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」およびベッドの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

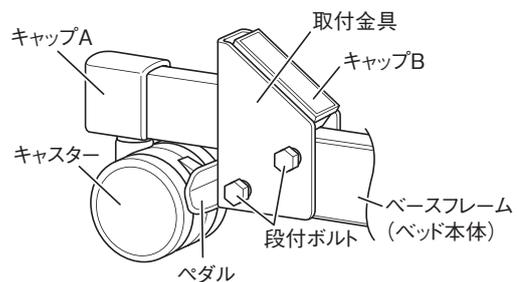
使用目的

■この製品はベッドに取付けることにより、部屋の中での配置換えや掃除をする際などに、ベッドの移動を補助することを目的に作られています。

※長い距離や段差・傾斜のあるゆか面などでの移動には適していません。

※ベッドの高さが5cm低くなります。

各部の名称



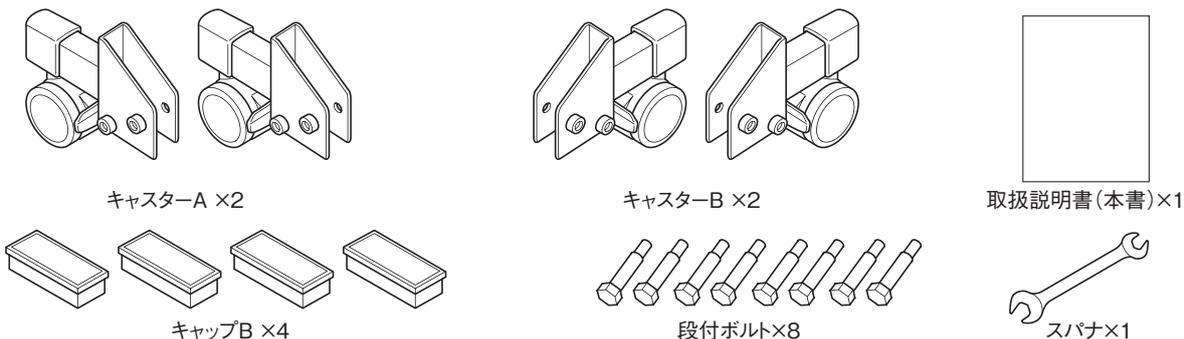
適合品

■レントシリーズ (KQ-68***) 専用です。

■レントシリーズ (KQ-68***) と、このキャスターの組合せは JIS 認証を取得しています。

部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。



安全に使用するための注意事項

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。

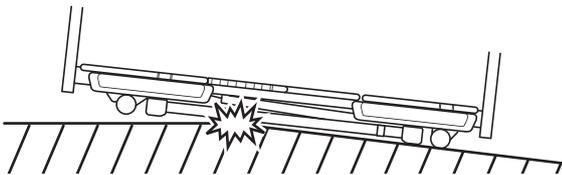
- ベッドを移動させるとき以外は4輪すべてのキャスターをロック状態にしてください
 - ベッドに乗り降りする際などに、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。
- お客様による修理・改造はしないでください
 - 思わぬけがや故障の原因となります。
- キャスターを直接取付けて使用するベッドは弊社が指定する適合品をご使用ください
 - 指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドやキャスターが破損したりするおそれがあります。

注意

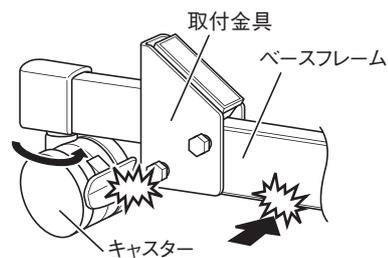
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 長い距離や段差・傾斜のある場所での移動は避けてください
 - 破損の原因となります。
 - ベッドの部品とゆかとのすき間が少ないため、ゆかを傷つけることがあります。また、ベッドやキャスターの故障の原因となるおそれがあります。
- ベッドを移動する際はサイドレールなどを持って移動しないでください
 - サイドレールなどを持つとサイドレールなどに大きな力がかかり、破損・変形するおそれがあります。
- スプレータイプの殺虫剤をキャスターに直接噴射しないでください
 - 殺虫剤に含まれる溶剤によってキャスターが破損・変色などするおそれがあります。また、破損した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

※ベッドの部品とゆかとのすき間：3cm



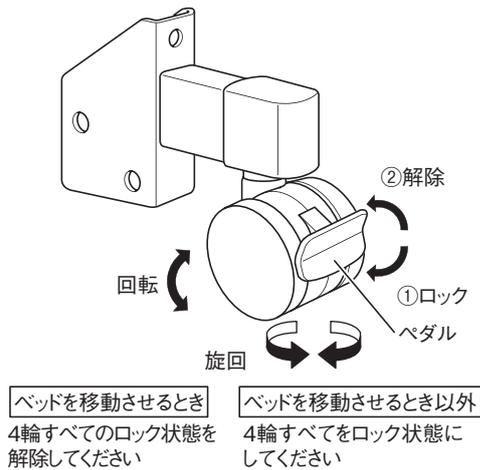
- 以下の場合にはキャスターの下に敷物（脚座ゴムシート KQ-P732：別売など）を敷いてください
 - すべりやすいゆか材（ビニル床シート・ビニル床タイル・フローリングなど）の上で使用すると、キャスターがすべりベッドが動いて、思わぬけがをするおそれがあります。
 - ビニル系のゆか材の上で使用すると、ゆか材が変色するおそれがあります。
- キャスターと取付金具のすき間やベースフレームとゆかとのすき間に、足先や手や指などはさまないように注意してください
 - キャスターが旋回したときや移動させる際に、すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。



仕様

品名		キャスター	
品番		KQ-P68C	
キャスター色		ダークグレー	
主要寸法	キャスター (cm)	キャスター径：φ 6.5 / キャスター幅：6.2	
	取付金具 (cm)	長さ 15.3 × 幅 4.2 × 高さ 10.2	
製品質量 (1個当り) (g)		キャスター：280 / キャップ：40 / 取付金具：490	
材質	キャスター	車輪	熱可塑性エラストマー
		ペダル	ナイロン
		軸	スチール
	取付金具		スチール
	キャップ A		ナイロン
	キャップ B		ポリプロピレン
段付ボルト		スチール	
適合品		レントシリーズ (KQ-68***)	

使用方法



- ①ペダルを下側にするると回転・旋回ともにロックされた状態になります。ロック状態にするとキャスターは回転・旋回しません。
- ②ペダルを上側にするると回転・旋回ともにロック状態が解除されます。ロック状態を解除するとキャスターは回転・旋回します。



- ロック状態にしたときに、キャスターが回転・旋回しないことを確認してください。
- ロック状態を解除したときに、キャスターがスムーズに回転・旋回することを確認してください。

警告

ベッドを移動させるとき以外は、4輪すべてのキャスターをロック状態にしてください。ベッドに乗り降りする際などに、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

注意

キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かさないでください。ベッドやキャスターが故障したり、ゆか材を傷つけたりするおそれがあります。

取付・取外方法

警告

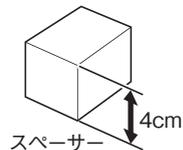
- 組立てられているベッドにキャスターを取付け・取外しするときは、ベッドを分解してベースフレームのみの状態にし、ベースフレームの脚座を取外してから作業を行ってください。（ベッドの分解方法は、ベッド本体の「取扱説明書」中の「ベッドの分解方法」を参照してください）。ベッドを分解せずにキャスターを取付け・取外しすると思わぬけがをしたり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。

【事前に準備すると便利なもの】

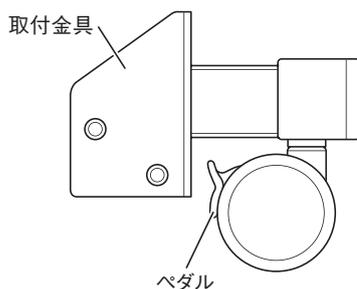
高さ 4cm 程度のスペーサー（4個）

※使用すると作業しやすくなります。（なくても作業できます）

※ベースフレームの下にはさんで使います。十分な強度のあるものをご用意ください。



※付属されていません。お客様でご用意ください。



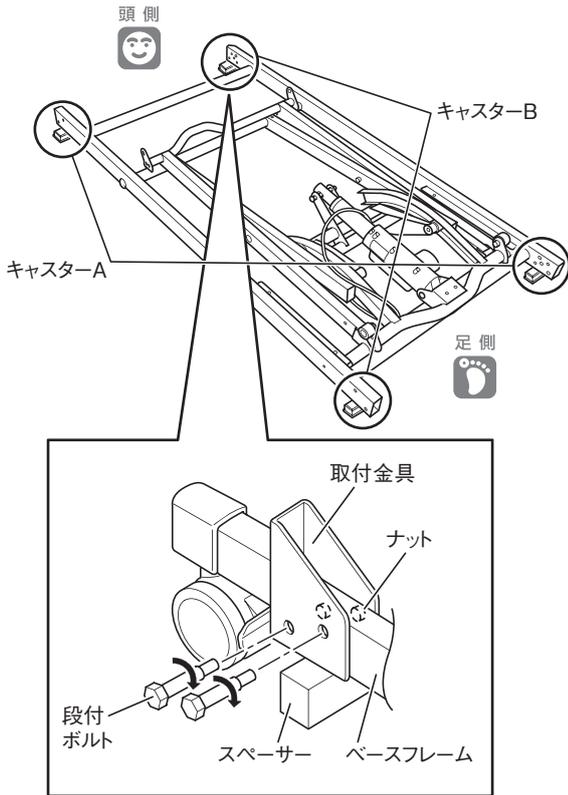
1. キャスターの固定

- 図のように、ペダルを取付金具に向けた状態で、4輪すべてのキャスターをロック状態にしてください。

注意

キャスターがロック状態になっていない場合、組立作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

取付方法



2. 頭側のキャスターの取付け



- スペーサー(2ページ参照)を使用すると、作業しやすくなります。
 - 先に頭側(2ヶ所)のキャスターを取付けてください。足側(2ヶ所)はベースフレームと足側フレームを組立てた後で取付けます。
- ※足側(2ヶ所)のキャスターを先に取付けてしまうと、ベースフレームと足側フレームの組立てができなくなります。

- ①ナットがない側をベッドの内側にして、取付金具をベースフレームのパイプにかぶせてください。(頭側の左右各1ヶ所)



キャスターには向きがあります。左図を参照してキャスターA・Bの取付け向きに注意してください。

- ②段付ボルトをベッドの内側から差込んで仮止めし、付属のスパナで締付けてください。(頭側の左右各2ヶ所)

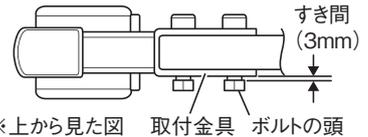


ベースフレームの下にスペーサーを置いた場合は、キャスター取付け後にスペーサーを取外してください。

- ③キャスターにゆるみやがたつきがないことを確認してください。

警告

段付ボルトは適正な状態まで締付けてください。段付ボルトがゆるんでいると、キャスターががたついてけがをするおそれがあります。段付ボルトを締付ける際、ボルトの頭と取付金具との間にすき間(右図参照)ができるのが適正な状態です。段付ボルトを締付けすぎないように注意してください。



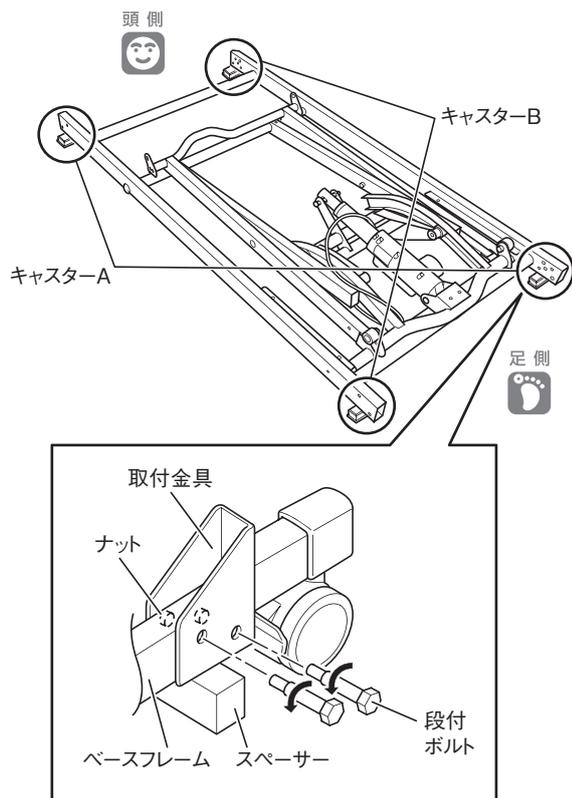
※上から見た図 取付金具 ボルトの頭

注意

スペーサーを置いた場合は、ベースフレームが安定していることを確認してから次の作業を行ってください。ベースフレームが落下してけがをしたり、ゆかなどを傷つけたりするおそれがあります。

3. 足側フレームの取付け

- ベッド本体の「取扱説明書」中の「ベッドの組立方法」に従って、ベースフレームと足側フレームを組立ててください。



4. 足側のキャスターの取付け

- ① ナットがない側をベッドの内側にして、取付金具をベースフレームのパイプにかぶせてください。(足側の左右各1ヶ所)
- ② 段付ボルトをベッド内側から差込んで仮止めし、付属のスパナで締付けてください。(足側の左右各2ヶ所)
- ③ 取付金具にゆるみやがたつきがないことを確認してください。

注記! 足側のキャスターの取付方法は頭側と同じです。キャスターの向き・段付ボルトの締付けに関する警告・注意・注記は「2. 頭側のキャスターの取付け」を参照してください。

5. スペーサーの取外し(スペーサーを下に敷いている場合)

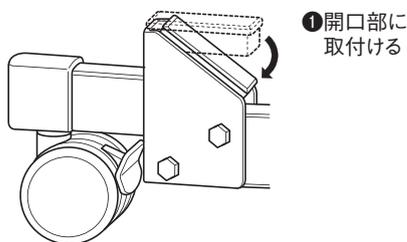
- ① ベッドを少し持ち上げて、ベースフレームの下に入れたスペーサーを外し、キャスターを接地させてください。(4ヶ所)

注意

スペーサーを外す際、手や指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

6. キャップBの取付け

- キャップBを、取付金具の開口部に取付けてください。



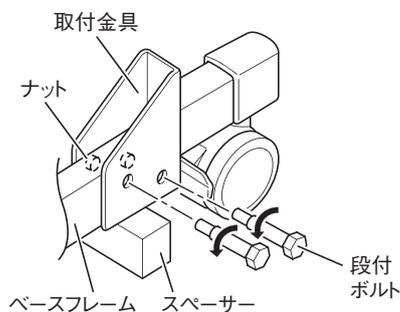
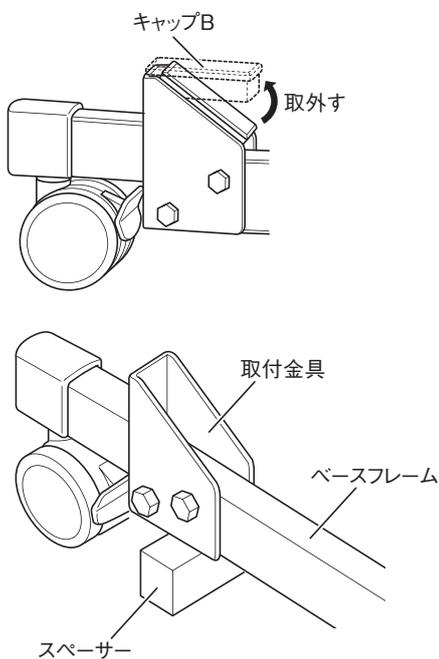
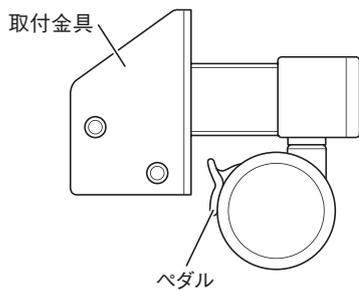
注記! 図のように、キャップBの端部を先に挿入すると取付けやすくなります。

注意

- キャップBは、取付金具の開口部にしっかりと取付けてください。開口部で思わぬけがをするおそれがあります。
- キャップBを取付ける際、手や指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※以降のベッドの組立方法については、ベッド本体の「取扱説明書」を参照してください。

取外方法



■取外方法

1. キャスターの固定

- 図のように、ペダルを取付金具に向けた状態で、4輪すべてのキャスターをロック状態にしてください。

注意

キャスターがロック状態になっていない場合、取外し作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

2. ベッドの分解

- ベッドを分解し、足側フレームとベースフレームの状態にしてください。(ベッドの分解方法は、ベッド本体の「取扱説明書」中の「ベッドの分解方法」を参照してください)

3. キャップBの取外し

- 取付金具の開口部に取付けられているキャップBを、ドライバーなどを使用して取外してください。



取外す際に、部品を傷つけないように注意してください。

4. スペーサーの設置 (スペーサーを下に敷く場合)

- ベースフレームを少し持ちあげ、ベースフレームの下にスペーサーを入れてください。



取付金具の真下部分に入れると、以降の作業がしやすくなります。

注意

スペーサーを入れる際、手や指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

5. 足側のキャスターの取外し

- ① キャスターを固定している段付ボルトを取外してください。(足側の左右各2ヶ所)
- ② ベースフレームからキャスターを取外してください。(足側の左右各1ヶ所)



足側のキャスターを取外しないと、足側フレームを取外することができません。

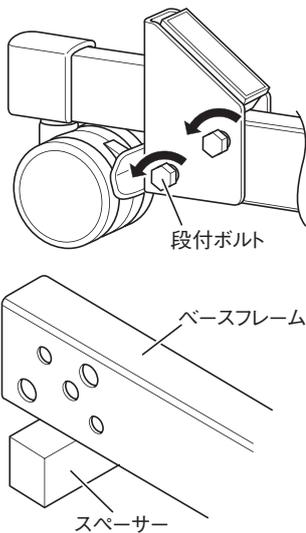
6. 足側フレームの取外し

- ベッド本体の「取扱説明書」中の「ベッドの分解方法」に従って、足側フレームを取外してください。

注意

取外す際に、スペーサーからベースフレームが落ちないように注意してください。思わぬけがをしたり、ゆか材を傷つけたりするおそれがあります。

取外方法



7. 頭側のキャストの取外し

- ① キャスターを固定している段付ボルトを取外してください。(頭側の左右2ヶ所)
- ② ベースフレームからキャスターを取外してください。(頭側の左右各1ヶ所)

8. スペーサーの取外し(スペーサーを下に敷いている場合)

- ベースフレームを少し持ちあげ、ベースフレームの下からスペーサーを取外してください。(4ヶ所)

注意

スペーサーを取外す際、手や指などをはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

お手入れ・長期保管について

■ 汚れの落とししかた

下記①～③の手順で行ってください。

- ① 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ② 水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③ 乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■ 消毒のしかた

下記の消毒剤を指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

76.9～81.4%	消毒用エタノール
0.05～0.2%	塩化ベンザルコニウム(オスバンなど)
0.05～0.2%	塩化ベンゼトニウム(ハイアミンなど)
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン(ヒビテンなど)
0.02～0.05%	次亜塩素酸ナトリウム(ミルトンなど)

注意

- 揮発性のもの(シンナー、ベンジン、ガソリンなど)やクレゾールは使用しないでください。変色・変質させるおそれがあります。
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質するおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後、水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。



- オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。
- キャスターへの注油や分解によるキャスター内部の清掃はしないでください。

■ 長期保管する場合

- 本取扱説明書および組立付属部品を袋などに入れ、直射日光を避け、大切に保管してください。
- キャスターの上には何も載せないでください。
- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度 -10～50℃、湿度 30～90%RHの環境で保管してください。

キャスターの交換について

■ キャスターは消耗部品のため、長期間ご使用いただいた場合、摩耗、損傷などにより機能が低下するおそれがあります。下記の場合は部品の寿命ですので、使用を中止して新しい部品に交換してください。

- キャスターのペダルを下側にしても、車輪が回転・旋回し、ロック状態にならない場合。
- 車輪の劣化により、キャスターをロック状態にしてもベッドが動いてしまう場合。
- ベースフレームを持ちあげたときに、キャスターがキャップから抜ける場合。
- キャップ B が取付金具から簡単に外れてしまう場合。

アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼される時

修理のご依頼は、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番（下記保証書を参照）
- お買い上げ日
- 破損または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは下記の保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているときは

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639

受付時間：平日 8:00～19:00 / 土・日・祝日 9:00～17:20（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

保 証 書

品名 / 品番	キャスト / KQ-P68C	保証期間	*お買い上げ日	年	月	日より1年間
お客様	お名前	*販売店 (店名・住所)				
	〒 () ご住所					
						☎ ()

*印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、ラベル類などの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

【保証規定】

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - This warranty is valid only in Japan.

<パラマウントベッド株式会社>

本 社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 ☎(03)3648-1111 (代)
東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 ☎(03)3648-1171 (代)
札幌支店 〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11 ☎(011)271-1181 (代)
仙台支店 〒980-0013 仙台市青葉区花京院2丁目1番65号 花京院プラザ4階 ☎(022)217-7311 (代)
さいたま支店 〒338-0001 さいたま市中央区上落合9丁目4番7号 ☎(048)852-0707 (代)

横浜支店 〒194-0004 東京都町田市鶴間5丁目3番33号 ☎(042)795-8800 (代)
名古屋支店 〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目20番17号 ☎(052)963-0600 (代)
大阪支店 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2丁目3番33号 ☎(06)6443-8791 (代)
広島支店 〒733-0011 広島市西区横川町3丁目8番5号 ☎(082)293-1311 (代)
福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号 ☎(092)461-1131 (代)